

ノースアジア大学と仙北市が観光に関する協定調印

学校法人ノースアジア大学(小泉健学長)と仙北市による「観光に関する連携協定調印式」が5月28日、角館榊細工伝承館で行われました。

調印式では、小泉学長と石黒市長が協定書にそれぞれ署名して交換し、協定を締結しました。

この協定により、仙北市の重点プロジェクトの一つ「テンリオン計画」の推進や「観光振興計画」の策定に向け、同大学による観光に関する調査・研究、在学する外国人教員や学生の視点による観光へのアドバイスや国際化に向けた語学講座などが予定されるほか、同大学に来年4月に開設される観光学科に地域の推薦枠が設けられ、観光を担う人材育成でも協力いただき、今後の仙北市の観光振興に大きく期待されます。

同大学との協定締結は、小坂町、男鹿市に続いて仙北市が3番目で、現在秋田市、湯沢市、にかほ市と話が進められているということです。

仙北市・学校法人ノースアジア大学
観光に関する連携協定調印式



協定を取り交わし握手する小泉学長と石黒市長

新入社員(地元就職者)歓迎激励会



模擬電話を使って実習をする参加者

6月14日、仙北市商工会(会長・柏谷圭一郎)が主催する新入社員(地元就職者)歓迎激励会が角館榊細工伝承館で開催され、今春、仙北市内に就職した人たちのうち、27人の新入社員が参加しました。

歓迎、激励のセレモニーに続いて、北都総研㈱インストラクターの大原悦子氏を講師に招き「接客マナー」の研修が行われました。初めて顔を合わせた参加者同士が互いに自己紹介やあいさつ、電話の取り次ぎ方、名刺交換、お辞儀の仕方など実習を交えた研修が行われ、新入社員のみなさんは新社会人としてのマナーを身に付けようと真剣に取り組んでいました。

第4回 歴史と文化フォーラム

“市民として自分たちのできることは自分たちの手で”をスローガンに、地域に貢献しようと立ちあがった市民団体「ルネッサンス・角館」(鈴木實会長)が主催する第4回地域づくり事業『歴史と文化フォーラム』が5月23日、仙北市西木総合開発センターを会場に開催されました。

西木町の作家、浅利佳一郎氏を講師に、「西木、今昔いろいろ」と題した講演に続き、「西木の神社と行事について」をテーマに西木町文化財保護協会会長の沼田欣治郎氏、仙北市産業観光部長の野中秀人氏、浅利佳一郎氏により西木町の歴史や文化財、観光等についてフリートークが行われました。

ルネッサンス・角館では、9月に田沢湖神代、11月に田沢湖生保内で開催する予定で、多くの市民の皆さまの参加を呼びかけています。

